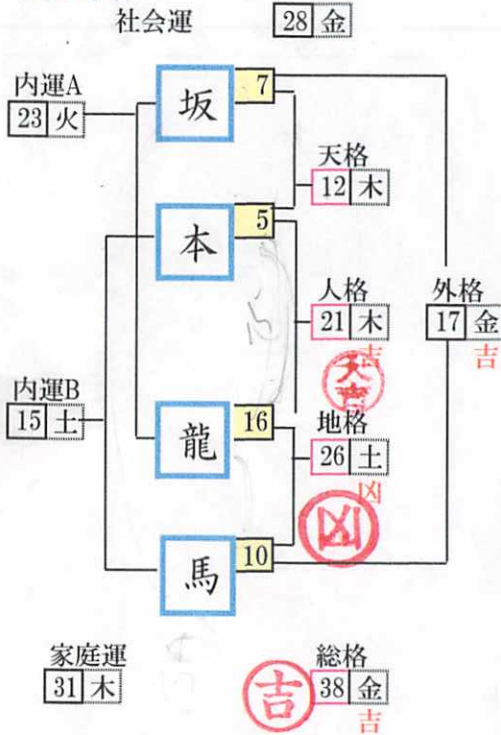


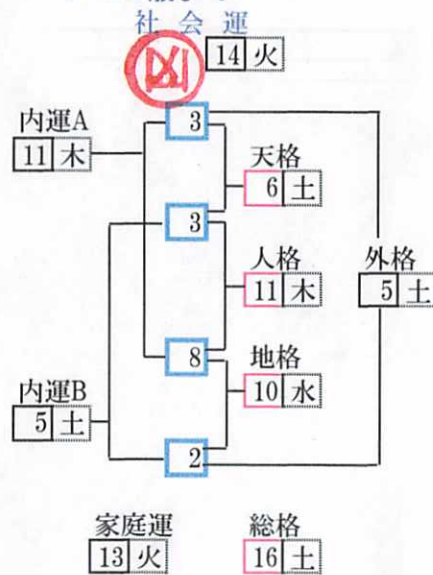
生年月日1836年1月3日(三碧木星)~1867年12月10日没(七赤金星)

31歳 没

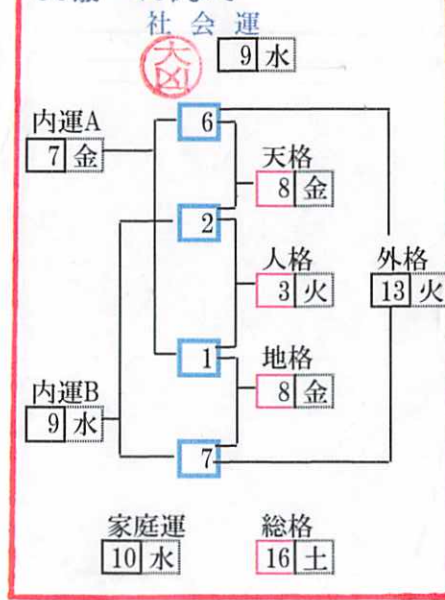
本体姓名  
2字2字名



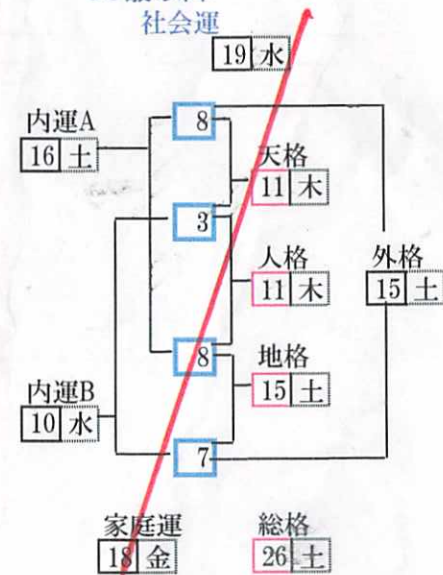
初年期の運勢  
1~29歳まで



中年期の運勢  
30歳~49歳まで



晩年期の運勢  
50歳以降



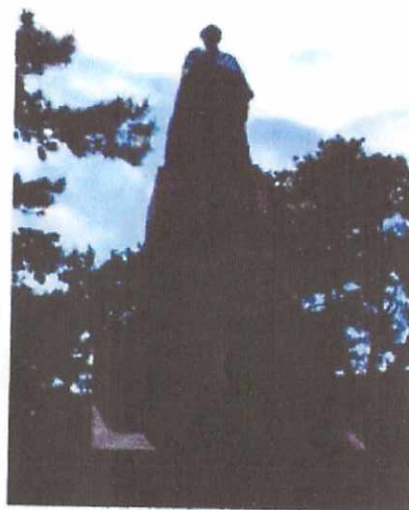
◆九星学で七赤金星の年(没年)に自己の星(三碧木星)が北の位置に入った年は時間では真夜中、暗黒の闇で運勢の一番低い時で、人生では最晩年の老年期を示す最凶運の年になる

◆人格21・23・33画は男性にとって最強の大吉数。旺盛な行動力と努力で一步一步発展する立身出世型、類稀なる頭領運を現し必ず人の上長と仰がれ名誉、尊敬を受ける貴重な幸運数、地格26画は英雄的、波乱、重疊、変怪数奇の運格。吉凶極端な波乱運。これだけの強運数を持ちながら31歳の若さで非業の最期を遂げたのはなぜか？ 中年期の運勢(社会運)が大凶数になっている。名前26画の波乱運数の影響で、もし暗殺現場でお龍さんが一緒にいたならば、暗殺されずに済むんだとも言われている。また姓名の社会運が吉数であれば暗殺は免れたとおもわれる。

## 坂本龍馬

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

坂本 龍馬(さかもとりょうま、男性、天保6年11月15日(1836年1月3日) - 慶応3年11月15日(1867年12月10日))は、江戸時代末期の土佐藩士である。父は土佐藩郷士・坂本八平で次男、母は幸。兄は権平、姉は千鶴、栄、坂本乙女(おとめ)。「龍馬」は本来は「りゅうま」と読むべきであるが、本人による書簡の自署に「良馬」の当て字も残るため、「りょうま」と読まれていたことはほぼ間違いない。妻はおりょう(本名は榑崎龍子)、婚約者・千葉さな子もいたとされる。諱は直陰のち直柔。龍馬は通称。他に才谷梅太郎などの変名がある。贈正四位(1891年)。



坂本龍馬像(高知県の桂浜)



坂本龍馬

「竜」の字を用いた竜馬という表記は司馬遼太郎『竜馬がゆく』の表記が誤って広まったものである(司馬は歴史的事実としての龍馬と小説を切り離すためあえてこの表記を使ったという)。司馬作品を始め、小説やドラマに度々取り上げられる人物ではあるが、それらは実際の龍馬とかけ離れているのではないかという指摘は多い。